



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月31日
上場取引所 東

上場会社名 東洋テック株式会社
コード番号 9686 URL <https://www.toyo-tec.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹野 譲
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 入浦 直仁 (TEL) 06-6563-2111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	8,753	△25.4	545	△40.3	593	△38.5	329	△52.5
2026年3月期第1四半期	11,727	55.2	912	—	964	—	694	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 298百万円(△60.4%) 2026年3月期第1四半期 754百万円(343.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	31.26	—
2026年3月期第1四半期	66.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	39,221	23,224	59.2
2026年3月期	39,389	23,330	59.2

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 23,224百万円 2026年3月期 23,330百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	32.00	—	39.00	71.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	35.00	—	36.00	71.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	37,500	△12.9	2,040	△30.0	2,020	△32.6	1,260	△36.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期1Q	11,432,460株	2026年3月期	11,432,460株
2027年3月期1Q	876,424株	2026年3月期	886,643株
2027年3月期1Q	10,552,561株	2026年3月期1Q	10,363,836株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因等により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3、「1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（金額の表示単位の変更について）

当社の四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載していましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

グループ事業全般は堅調に推移いたしましたが、2025年10月に閉幕いたしました「大阪・関西万博」関連売上の剥落が影響し、売上高は8,753百万円（前年同四半期比2,974百万円の減収）となりました。

継続的なインフレや物価高への対応および従業員エンゲージメントの向上を図るため、4年連続でベースアップを実施いたしました。また、2026年1月に設立60周年を迎え、今後の当社グループの更なる発展に向け、グループ内の一体感醸成とエンゲージメントの強化を目的に、2026年5月に大規模な社内向けイベントを開催したほか、戦略的投資の一環として2026年6月に不動産収益物件を1件購入しております。その結果、営業利益は545百万円（前年同四半期比367百万円の減益）、経常利益は593百万円（前年同四半期比371百万円の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は329百万円（前年同四半期比364百万円の減益）となりました。

事業セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(警備事業)

警備事業におきましては、「大阪・関西万博」関連剥落の影響はあるものの、価格改定への取組みが定着したことで、万博関連を除く既存業務は堅調に推移いたしました。

その結果、警備事業の売上高（セグメント間の内部売上高又は振替高は除く。）は、6,091百万円（前年同四半期比△3,135百万円、34.0%の減収）、セグメント利益は384百万円（前年同四半期比△380百万円、49.8%の減益）となりました。

(ビル管理事業)

ビル管理事業におきましては、新体制のもと警備事業との協働を強化したことで、収益性は引き続き向上し、万博特需の剥落分もカバーしております。

その結果、ビル管理事業の売上高（セグメント間の内部売上高又は振替高は除く。）は、2,494百万円（前年同四半期比103百万円、4.3%の増収）、セグメント利益は131百万円（前年同四半期比13百万円、11.3%の増益）となりました。

(不動産事業)

不動産事業におきましては、仲介業務もあり、安定的に推移しております。

その結果、不動産事業の売上高（セグメント間の内部売上高又は振替高は除く。）は、167百万円（前年同四半期比57百万円、52.2%の増収）、セグメント利益は25百万円、前年同四半期比同水準となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、12,981百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,321百万円減少しました。その主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が68百万円、その他流動資産が229百万円それぞれ増加しましたが、一方で現金及び預金が3,652百万円減少したことによるものです。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、26,240百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,153百万円増加しました。その主な要因は、のれんが67百万円、投資有価証券が38百万円それぞれ減少しましたが、一方で建物及び構築物が3,246百万円増加したことによるものです。

(負債)

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、9,894百万円となり、前連結会計年度末に比べ393百万円増加しました。その主な要因は、買掛金が90百万円、1年内返済予定の長期借入金が199百万円、未払法人税等が977百万円、賞与引当金が277百万円、その他流動負債が447百万円それぞれ減少しましたが、一方で短期借入金2,265百万円、預り金が171百万円それぞれ増加したことによるものです。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、6,102百万円となり、前連結会計年度末に比べ455百万円減少しました。その主な要因は、繰延税金負債が97百万円、その他固定負債が94百万円それぞれ増加しましたが、一方で長期借入金で649百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、23,224百万円となり、前連結会計年度末に比べ105百万円減少しました。

なお、自己資本比率は、前連結会計年度末の59.2%と同水準の59.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2026年5月13日の「2026年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,665	5,012
受託現預金	3,681	3,665
受取手形、売掛金及び契約資産	3,058	3,126
商品	5	8
貯蔵品	426	462
その他	509	738
貸倒引当金	△43	△33
流動資産合計	16,302	12,981
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,488	7,735
機械装置及び運搬具（純額）	2,347	2,381
土地	5,973	5,973
建設仮勘定	11	16
その他（純額）	583	593
有形固定資産合計	13,403	16,700
無形固定資産		
ソフトウェア	196	187
のれん	2,521	2,454
その他	619	600
無形固定資産合計	3,337	3,241
投資その他の資産		
投資有価証券	4,869	4,830
繰延税金資産	218	187
退職給付に係る資産	661	668
その他	776	754
貸倒引当金	△179	△143
投資その他の資産合計	6,345	6,298
固定資産合計	23,086	26,240
資産合計	39,389	39,221

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	342	252
短期借入金	45	2,310
1年内償還予定の社債	1,000	1,000
1年内返済予定の長期借入金	1,799	1,599
未払法人税等	1,089	112
契約負債	541	564
リース債務	53	52
預り金	811	983
賞与引当金	703	425
役員賞与引当金	86	12
その他	3,028	2,581
流動負債合計	9,501	9,894
固定負債		
社債	500	500
長期借入金	4,298	3,648
リース債務	276	263
繰延税金負債	313	411
退職給付に係る負債	730	746
その他	438	532
固定負債合計	6,557	6,102
負債合計	16,058	15,996
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,618	4,618
資本剰余金	8,690	8,690
利益剰余金	10,921	10,834
自己株式	△824	△810
株主資本合計	23,406	23,331
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,204	1,177
土地再評価差額金	△1,362	△1,363
退職給付に係る調整累計額	82	79
その他の包括利益累計額合計	△75	△106
純資産合計	23,330	23,224
負債純資産合計	39,389	39,221

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	11,727	8,753
売上原価	9,446	6,704
売上総利益	2,281	2,048
販売費及び一般管理費	1,369	1,503
営業利益	912	545
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	52	49
その他	21	17
営業外収益合計	74	68
営業外費用		
支払利息	18	17
その他	4	3
営業外費用合計	22	20
経常利益	964	593
特別利益		
投資有価証券売却益	94	-
特別利益合計	94	-
特別損失		
固定資産売却損	-	7
固定資産除却損	11	13
その他	3	1
特別損失合計	15	22
税金等調整前四半期純利益	1,043	570
法人税、住民税及び事業税	238	99
法人税等調整額	111	141
法人税等合計	349	240
四半期純利益	694	329
親会社株主に帰属する四半期純利益	694	329

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	694	329
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66	△27
土地再評価差額金	-	△1
退職給付に係る調整額	△5	△2
その他の包括利益合計	60	△31
四半期包括利益	754	298
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	754	298
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	警備事業	ビル管理事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,226	2,390	110	11,727	—	11,727
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	179	3	196	△196	—
計	9,239	2,570	113	11,924	△196	11,727
セグメント利益	765	118	25	909	3	912

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間の取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	警備事業	ビル管理事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,091	2,494	167	8,753	—	8,753
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	112	3	130	△130	—
計	6,105	2,606	171	8,883	△130	8,753
セグメント利益	384	131	25	542	2	545

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間の取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	296百万円	294百万円
のれんの償却額	69百万円	67百万円